

令和3年度 学校自己評価

<p>基本方針 安全・安心で生徒職員ともに元気な学校、SDGsの理念を踏まえて、生徒の長所を引き出し、地域社会に貢献する学校づくりを目指す</p>			
<p>重点目標</p>		<p>具体的目標</p>	
<p>1 基本的な生活習慣を確立させるとともに、規範意識の醸成を図る。</p> <p>2 基礎基本の学力定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に取り組む。</p> <p>3 キャリア教育の一層の充実を図るとともに、大学入試改革への対応を図る。</p> <p>4 部活動や特別活動などへの積極的な参加を促すとともに、外部人材の活用や地域貢献を図り、円滑な人間関係や素直な心と感謝の気持ちを育む。</p> <p>5 教職員間のコミュニケーションや連携を図りながら多忙化を解消する。</p>		<p>(1) 生活指導 ①基本的な生活習慣の確立 ②ルールの遵守、マナーの向上 ③身だしなみ指導の徹底 ④元気なあいさつ・返事 ⑤保護者との早めの連携</p> <p>(2) 学習指導 ①授業規律の徹底 ②授業力の向上、授業改善（主体的・対話的で深い学び） ③家庭学習の定着 ④ポロノートやスタディアプリの活用</p> <p>(3) 進路指導 ①3年間を見通したキャリア教育の推進 ②就職指導の充実 ③進学指導の充実と大学入試改革の研究と対応</p> <p>(4) 部活動及び特別活動 ①部活動の充実 ②学校行事の充実 ③生徒会活動、委員会活動の充実</p> <p>(5) 勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害の防止 ①業務の適正化 ②確実・適切なメンタルヘルスの保持 ③年次休暇の計画的な取得を促進する環境整備 ④不祥事の防止</p> <p>(6) その他 ①環境美化 ②ボランティア活動の推進 ③積極的な情報発信（ホームページ、Instagramのタイムリーな更新） ④同窓会との連携</p>	
担当	重点目標	具体的方策	留意事項
総務	①PTA活動をより充実させる。	PTA活動の様子を保護者に向けて積極的に発信する。	・プリント、メール配信サービス、ホームページを活用して参加を呼びかける。参加人数は、のべ165人以上を目標とする。（4月在籍数165名） ・PTA活動の取捨選択をするとともに、参加型研修会の新しい活動を模索する。
	②内海高校の魅力を発信する。	きめ細やかな情報発信をしていく。	・ホームページのタイムリーな更新を継続しつつ、他分掌との連携を図り、内容を一層充実させる。 ・入学希望者の増加を目指し、訪問型学校説明会を実施する。
教務	①落ち着いた学習環境を作り、基礎基本の定着を図る。	授業規律の確保に努め、生徒が落ち着いて授業に向かう環境を作る。	・年度当初から授業を受けるルールを生徒に周知し、学年及び学校全体で規律ある授業への姿勢を育成する。 ・週末や長期休暇において課題を課し、生徒の家庭学習の時間を確保する。 ・生徒個々の特性を理解し、生徒にとって分かりやすい授業の考察を行う。
	②新しい教育課程の実施に向けた環境整備と業務の改善を図る。	生徒指導要録や通知票等書類の改訂と、観点別評価の具体的実施方法を策定する。	・新しい校務支援システム導入の準備を進める。 ・観点別評価の方法を全職員へ共有する。 ・観点別評価を反映した諸帳簿の作成を行う。

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
生徒指導	①基本的な生活習慣の確立	欠席・遅刻を減少させる。	・各月に集計結果を提示して、全職員で欠席 3.0・遅刻 1.0（在籍生徒一人当たりの数値）未満の数値目標の維持、向上を図る。（R2：欠 2.6/遅 0.9）
		皆勤者の増加を図る。	・皆勤率の向上を目指す。数値目標は全学年とも皆勤者 1/2 以上とする。
	②ルールへの遵守、マナー向上	ルール・マナーを遵守し、TPOに応じた行動ができるよう促す。	・「内高生が守るべきルール・マナー」を活用し、意識高揚につなげる。校内外を区別せず「公共」を意識した行動を身につけさせる。 ・常に面接試験に臨める身だしなみと丁寧な言葉遣いを意識させ、継続させる。
	③学校行事、部活動の活性化と充実	生徒が充実感・達成感を得られる工夫をする。	・学校行事、HR 活動等、生徒自身が主体的に企画・運営できる支援をする。生徒会活動も活性化し、生徒主体での取り組みを増加させる。
		部活動への参加率向上を目指し、やめさせない工夫をする。	・毎日指導に当たることを目標に、会話や指導を通して信頼関係を深め、生徒のやる気を引き出す。 ・自主的で充実した活動を通じて、自己肯定感を育ませる。
④いじめのない安心安全な学校生活	スクールカウンセラーと連携し、いじめ事例に組織的に対応する。	・些細な兆候を見逃さず、アンケート調査を行うなど未然防止、早期発見に努める。また、いじめ問題に関して全職員が高い意識を持つ。 ・SNS の利用において、ルールやマナーの遵守を徹底し、その態度や行動を醸成する。不特定で顔の見えない相手であることを十分認識し、個人の自分勝手な書き込みから生じる危険性への想像力を養わせる。	
	真面目な生徒が損をしない環境を作る。	・自己都合を優先した周囲への迷惑行為に対しては、厳しく対応する。その場面に限らず、問題行動の背景をとらえ自分を見つめる機会を作る。	
進路指導	①進学指導・就職指導を充実させる。	進学・就職両面において、生徒の基礎学力の向上の工夫と教員間の情報の共有化をしっかりと図り、適切な指導ができるようにする。	・進学と就職両方の指導に関して、個々の希望に応じた適切な指導をする。また、ST テストや補習や模擬試験を可能な限り活用させ、基礎学力の向上を図る。 ・就職指導として、教員間で事業所に関する情報の共有を図り、早い時期から生徒の希望と受験先のマッチングを意識した指導を行う。また、夏期対策講座の充実を図る。
	②低学年から進路意識を持たせる。	進路行事を積極的に活用する。	・朝の学習をはじめ、学力に関する意識付けとともに、なるには講座、大学や企業の見学などの行事を通じて、低学年から進路意識を持たせる。特に昨年からはじめた OB 訪問、冬のインターンシップの精選を行う。

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
保健 厚生	①ボランティア活動の継続と充実	地域とあゆむボランティアの活動を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域とあゆむボランティアについて、学校周辺の清掃活動を継続するとともに、大地の丘への訪問や、南知多町の津波避難訓練、内海海水浴場の清掃なども実施することで、地域に対して内海高校の良さを発信する。 高校生ボランティアアワードに参加し、ボランティア活動に励む全国の高校生と交流することで、本校の生徒のボランティアに対する意識を発展させるとともに、本校の活動を全国に発信する。
	②生徒委員会活動の充実	美化委員会の活動で生活環境に対する意識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 美化委員を中心に年間3回の清掃道具の点検を行い、物を大切にすることを養うとともに、充実した清掃活動を行える状況をつくる。 校門の花壇に季節の花を植えたり、除草・水やりの当番を決めて整備を行うことで、気持ちの良い学校環境をつくる。
		保健委員会の活動で自らの身体や、健康情報に関心をもたせるように工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> 保健委員を通じて、本校の生徒が苦手とするストレスの対処について考える機会を設ける。 感染防止、熱中症予防における対策を生徒が自発的に行えるような意識作りをする。
	③相談活動の充実	スクールカウンセラーと連携し、相談活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> プライバシーに配慮して、丁寧に相談活動を実施する。 学年を中心に情報を共有し、生徒の学校生活を支援する。 支援・配慮の必要な生徒に適切な支援・配慮ができるように、スクールカウンセラーとも情報を共有する。

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
1 年	①規範意識の高揚、基本的生活習慣の確立	自分を見つめ自分を理解して自己の見直しを図る。	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考えて行動できる力を養うとともに、皆勤者の増加(30%以上)と遅刻回数の減少を図り、社会に適応する能力を高める。 話を聞く態度を養い、聞いたことを理解し行動につなげることが大切であると意識できるようにする。 身だしなみを整え、人より先に挨拶できるようにする。
		ルール・マナーを守る。	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境を整えるために、授業規律の理解と徹底を図る。 集団を意識できるような声かけを生徒に行うことで、ルールとマナーの周知徹底を図る。 言葉遣いを正し、礼儀正しい行動をとれるように声かけをしていく。
	②学習習慣の充実	提出物・課題の提出期限を守る。 基本的学習習慣をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題の提出期限を守り、3学期までに課題の未提出者ゼロを目指す。 学校設定科目「基礎数学」、総合的な探究の時間「黒潮」を通じてSDGsに関連させながら社会に必要な基礎学力をつけるとともに、学び方やものの考え方を身につける。 少人数授業の展開によるきめ細かい指導を行い、各定期考査では欠点者を減らす工夫をする。

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
2 年	①進路実現を意識した行動	自己理解を深め、自分が社会で貢献できる分野を見つける。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを自問自答させ、自分が進路先で活躍できる分野を探させる。 ・職業の具体的な仕事内容を調べさせ、自分に合った進路先の候補を具体的に3つ見つけさせる。
		学年皆勤の生徒を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を確立させ、体調管理を徹底させる。 ・学年皆勤の人数を昨年度より向上させる。
	②コミュニケーション能力の育成	TPOに応じた言葉遣いと積極的な挨拶や返事を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手より先に、相手の気持ちが明るくなる挨拶ができるようにする。 ・相手が話をしている時等、相手の様子に応じた挨拶ができるようにする。 ・それぞれの状況に応じた行動を具体的に示し、理解させ、振る舞いができるようにする。
		伝える力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や字を丁寧に、自分の思いを丁寧に相手へ伝えることをさせる。 ・他者理解を促し、自分本位な行動にならないように心掛けさせる。
3 年	①進路の実現	基礎基本を大切に、基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の確保に努め、落ち着いた学習環境の中で、集中して話を聞く姿勢を確立する。 ・週間課題や帰りのSTの時間に学力向上のためのプリント学習を行う。 ・日々の授業の成果である定期テストにおいて、欠点保有者をなくす。
		進路意識を高めさせ、進路指導を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路相談週間、個人面談、進路ガイダンス、進路対策講座などを有効活用する。就職、進学後1年以内の離職率、離学率を0とするために、より一層生徒の就職に対する意識と基礎学力を高めていく。
	②信頼される社会人として必要な能力や習慣の育成	皆勤率の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・皆勤の意義を説き、その実現に向け努力を促す。数値目標は皆勤率30%以上とする。
		身だしなみルールの徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常から声をかけて、常に面接試験に臨む身だしなみを意識させる。また最上級生として、下級生の見本となる意識を高める。
		コミュニケーション能力の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・最高学年として明るく元気な挨拶や素直な返事、正しい言葉遣いができるように学年全体で促す。 ・公共の場での言動に気をつけさせる。社会に出たときに、自然と場に応じた話し方や立ち居振る舞いができるようにする。